

す

わ

令和3年(2021)2月1日

Guide to SuwaCity Council

市議会だより

目次

年頭のご挨拶	2
議会TOPICS	2
審議結果	3
常任委員会報告	4
代表質問	6
一般質問	9
モニター通信	15
議長室からこんにちは!	16



**高島城天守閣復興50周年
コロナに打ち勝つぞ!!**

令和2年12月定例会

R2.11.24▷R2.12.10

議案 17件

議員議案 2件

陳情 1件

が審議されました。

見どころ

- 「諏訪市議会議員の政治倫理に関する条例」を制定しました! 2P
- 政策提言書を市長へ提出しました! 14P
- 第2回モニター連絡会議が開かれました! 15P
- 議長室からこんにちは! 16P

令和三年 年頭のご挨拶



議長

伊藤 浩平

副議長

森山 博美

新年あけましておめでとございます。日ごろは市議会活動にご理解賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、市民生活に多大な影響があった一年でした。また、議会活動においても、コロナ対応に追われ、今までは違う一年となりました。まだまだ安心できる状態ではありませんが、新たな生活様式とはいえ、皆様が安心して早く日常生活を送れる状況になることを祈っております。

皆様にとって本年が幸多き年となるよう心よりお祈り申し上げます。

議会 TOPICS

「諏訪市議会議員の政治倫理に関する条例」を制定しました！

諏訪市議会は、令和元年6月に「議会改革推進特別委員会」を設置し、議会改革に取り組んでまいりました。

その中で、「諏訪市議会基本条例」第8条(議員の政治倫理)に基づき、「諏訪市議会議員の政治倫理に関する条例」の制定に向けて検討を重ねてまいりました。

市民に信頼される議員を目指して、議員が守るべき政治倫理基準を定めた、「諏訪市議会議員の政治倫理に関する条例」を12月定例議会で全議員の賛成で可決、制定しました。

条例は市のホームページに公開しております。



議会改革推進特別委員会

(◎委員長 ○副委員長)

- | | |
|--------|--------|
| ◎近藤 一美 | ○廻本多都子 |
| 牛山 智明 | 高木 智子 |
| 藤森 靖明 | 森山 博美 |
| 吉澤美樹郎 | |

※右記 QR コードを読み込むと、リンクできます。



令和2年第5回(10月)臨時会 審議結果

令和2年10月20日に臨時会を行い、民生費、衛生費、商工費、教育費の補正予算、5,018万円を審議し、全会一致で可決しました。

《全会一致で可決された議案》

■ 議案 第44号 令和2年度諏訪市一般会計補正予算(第7号)

令和2年第6回(12月)定例会 審議結果

《全会一致とならなかった提出案件審議結果と各議員の賛否一覧》

賛成…○ 反対…× なお、議長(伊藤浩平)は、採決には加わりません。

区分	番号	件名	岩波万佐巳	牛山智明	井上登	廻本多都子	近藤一美	小松孝一郎	横山真	小山博子	高木智子	牛山正	藤森靖明	森山博美	吉澤美樹郎	小泉正幸	議決結果
陳情	16	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

《全会一致で可決された議案》

- 議案
- 第45号 諏訪市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
 - 第46号 諏訪市常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
 - 第47号 諏訪市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
 - 第48号 諏訪市国民健康保険税条例の一部改正について
 - 第49号 諏訪市後期高齢者医療に関する条例及び諏訪市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について
 - 第50号 金銭物品等の寄付募集に関する条例を廃止するについて
 - 第51号 諏訪広域連合規約の一部変更について
 - 第52号 市道路線の廃止について
 - 第53号 市道路線の認定について
 - 第54号 公の施設の指定管理者の指定について
 - 第55号 公の施設の指定管理者の指定について
 - 第56号 公の施設の指定管理者の指定について
 - 第57号 公の施設の指定管理者の指定について
 - 第58号 令和2年度諏訪市一般会計補正予算(第8号)
 - 第59号 令和2年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 - 第60号 令和2年度諏訪市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 - 第61号 令和2年度諏訪市一般会計補正予算(第9号)
- 議員議案
- 第4号 諏訪市議会議員の政治倫理に関する条例を定めるについて
 - 第5号 意見書の提出について(国土強靱化対策等の社会資本整備の推進を求める意見書)

議員議案

1件の条例を制定しました

◎ 諏訪市議会議員の政治倫理に関する条例

詳細は2ページ「議会TOPICS」をご覧ください。

1件の意見書を関係行政庁に提出しました

◎ 国土強靱化対策等の社会資本整備の推進を求める意見書

国に対して、近年の自然災害の頻発化・激甚化の状況を踏まえ、対策を推進していくうえで、十分な予算を安定的かつ継続的に確保するよう求めるもの。

※「議員議案」…8P「用語解説2」で解説しております。

◎議案第45号 諏訪市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

◎議案第46号 諏訪市常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

◎議案第47号 諏訪市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

議案の内容

3議案とも、人事院勧告に準じた給与改定等を実施するための関係条例の改正がされるもの。議案第45号、第46号は、議員及び常勤特別職の職員の期末手当の支給月数について、議案第47号は、一般職の職員の期末手当の支給月数について、年間0.05か月分を引き下げるもの。

主な質疑

問 人事院勧告は民間準拠というところだが、民間よりも下げなくてはならないのか。

答 民間準拠というのは、必ずしも民間より引き下げることではない。基本的には民間に近いものにする。

問 組合の意見は聞いているのか。

答 諏訪市の4組合には、人事院勧告どおり引き下げを行う旨を提案し、組合からは、遺憾だがやむを得ない、了承するとの文書ももらっている。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第58号 令和2年度諏訪市一般会計補正予算(第8号)

議案の内容

主な内容については別表のとおり。

主な質疑

問 農業費について、大碓水系の浸水対策の工事内容は。

答 現在、水路などへの浸水をせき止めている板を、作業性・安全性に考慮したハンドル方式にして上下させる装置を設置する。

問 霧ヶ峰高原一帯の活性化に向けての調査をする会社は、何社があるのか。また、その実績はあるのか。

答 調査会社は何社もあり実績もある。プロポーザル方式で入札予定で、どんな実績があるか等審査していく。*プロポーザル方式とは…価格以外の側面(技術力等)を評価して事業者を選定する方式。

問 霧ヶ峰活性化委員会等の立ち上げについての考えは。

答 霧ヶ峰の旅館経営者の方々の意見を多く取り入れていくため、委員会を設定する予定はない。

問 都市計画費のポケットパーク整備とは。

答 国の補助対象とならない小規模公園で、県の補助金で整備する。

問 上社本宮周辺にポケットパークが整備されるまでの経緯は。

答 今年、上社東参道上の桔梗屋の拠点整備に伴い、空き地であった隣接地にポケットパークを整備し、街並み景観作りをすることになった。

問 落雷により故障した防災行政無線屋外拡声子局には落雷対応の遮断装置が整備されているのか、また、今後付けるのか。

答 標準品にはついていないため、つけられるのか検討する。

問 災害備蓄事業費により購入する5台の浄水器はどこに保管するか。

答 城南小、四賀小、豊田小、中洲小湖南小の防災倉庫に保管する。

採決の結果

全会一致可決。

議案第58号 《※総務産業委員会 付託分》

項目	補正額	主な内容
総務費	442万8千円	・行政改革推進事業費 442万8千円
農林水産業費	2,373万9千円	・土地改良事業費 2,373万9千円
		(大碓水系の浸水対策に係る工事費など)
商工費	3,277万4千円	・商工業振興費 2,742万8千円
		(店舗等立地促進補助金など)
土木費	180万円	・霧ヶ峰活性化調査等業務委託料 534万6千円
		・上社周辺ポケットパーク整備工事費 180万円
消防費	664万2千円	・防災行政無線運用事業費 528万円
		・災害用備蓄事業費 136万2千円
公債費	△1,760万5千円	・市債償還利子 △1,903万6千円

人事院勧告等に基づく、人件費の補正額(総務・社文付託分一括)△4,747万2千円

総務産業委員(委員長 牛山 智明、副委員長 岩波万佐巳、小松孝一郎、森山 博美、井上 藤森、登 靖明)

◎議案第51号 諏訪広域連合規約の一部変更について

議案の内容

介護保険事業に係る構成市町村の負担額について、保険給付費の総額が増す中、給付と負担のバランスに配慮した適正な割合とするため、広域6市町村で協議が重ねられてきた。10月29日に開催された正副連合長会議において、新たな負担割合について合意が得られたことに伴い、広域連合規約の一部を変更するため、地方自治法の規定に基づき議会の議決が求められるもの。

主な質疑

問 地域支援事業費関係経費を高年齢者人口割にする意図は。

答 実際にサービスを受ける方は65歳以上の高齢者であるため、高齢者人口割にする方が実態に即している」と協議されてきたため。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第58号 令和2年度諏訪市一般会計補正予算(第8号)

議案の内容

主な内容については別表のとおり。

主な質疑

問 聖母幼稚園の給付費等の見込みにずれが生じたとの説明であるが、特別な理由があるのか。

答 聖母幼稚園は今年の4月より認定こども園に移行している。認定こども園になることで給付の仕組みが変わることとなった。当初予算の編成時に確定しなかった部分があったため。

問 諏訪赤十字病院への救急車の導入支援は、諏訪市単独で行うのか。

答 諏訪市単独で行う。諏訪赤十字病院は市民病院としての役割を担う救急指定病院である。新型コロナウイルス感染症の搬送のための救急車導入を支援し、市民の安全と安心を支援したい。

問 教職員向けの端末操作支援業務委託料の業務内容について、時期、頻度、内容は。

答 令和3年1月末にタブレット等操作指導を受ける予定。一回の研修は4時間以内程度を想定している。

問 すわ大昔情報センターの運営委託料は前回と比べ増減はあるのか。

答 開館日の日数が減るため前回の委託料よりは全体として減っているが、基本的に一日の単価は変わっていない。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第61号 令和2年度諏訪市一般会計補正予算(第9号)

議案の内容

6月定例会で議決された、ひとり親世帯臨時特別給付金について、国が再支給の方針を示したことに伴い、民生費の児童福祉費に2,613万3千円が計上されるもの。

主な質疑

問 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯への対応は。

答 今回の補正は、国の二次補正で行われた低所得のひとり親世帯臨時特別給付金の基本給付の再給付(一世帯5万円)となる。二次補正分は来年2月まで受付をしているため、新たに対象となった世帯も申請ができる。

採決の結果

全会一致可決。



現地視察の様子(清水町体育館)

社会文教委員(◎委員長 ○副委員長)

- ◎吉澤美樹郎
- 近藤一美
- 廻本多都子
- 横山真
- 小山 博子
- 高木 智子
- 小泉 正幸

議案第58号《※社会文教委員会 付託分》

項目	補正額	主な内容
総務費	132万2千円	・通知カード・個人番号カード関連事業費 132万2千円
民生費	2億5,394万2千円	・国民健康保険会計繰出金 1,634万6千円
		・地域医療介護総合確保基金事業補助金 3,779万5千円
		・後期高齢者医療広域連合関係経費 4,165万1千円
		・私立保育所要保育児童保育委託等事業費 5,500万円
		・生活保護措置費 6,000万円
衛生費	5,290万円	・諏訪赤十字病院新型コロナウイルス感染症対策支援金 3,000万円
教育費	1,142万2千円	・未来創造ゆめスクールプラン事業費 694万5千円
		・情報基礎教育整備事業費(小・中学校費) 176万円
		・すわ大昔情報センター運営事業費 債務負担行為

※人事院勧告等に基づく、人件費の補正額は総務産業委員会の報告のとおり

代表質問

各グループ(会派)が、政策上の問題などについて質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁であり、代表者の文責によるものです。※各議員のQRコードから代表質問の動画にリンクできます。

《彩風すわ》



小泉 正幸



●令和3年度の予算編成

問 予算編成方針は。
答 業務スマート化という視点で試行的に予算編成を前倒し、実施計画策定と一体で当初予算編成している。

問 歳入見込みは。

答 新型コロナウイルスの影響による市民税や固定資産税の減免措置により大幅減収の見込み。市税が減収となった時は、国からの交付税が増額される措置がある。その詳細は12月下旬の決定で現在は未定。歳入の状況はかなり厳しいものになると想定している。

問 歳出方針は。

答 前年度予算と同水準に設定。事業を見直し、事業の選択と集中を進める。また、コロナ対策は積極的に予算措置する。

●柳並線竣工に関して

問 西口開発の具体的計画は。
答 柳並線整備後、駅西口周辺整備も具体的な計画を策定し、国の交付金等を活用し積極的に整備していく。

問 老人福祉センターの今後は。

答 築46年で老朽化が進んでいること、また諏訪市公共施設等総合管理計画に基づき、令和3年12月を目途に廃止の予定。利用者の意向に寄り添い、代替施設の提案をし、スムーズに移行いただけるよう尽力する。



柳並線完成予定図

●公共施設の床面積10%削減計画

問 当初計画の進捗度は。
答 平成29年策定、10年で総延床面積10%以上を削減する目標。今年度未までに、累積で1万2,633㎡(5.6%)縮減予定。

問 すわっチャオの削減計画における位置付けは。
答 当該施設については、昨年増加した施設として総床面積に計上済みである。

問 諏訪広域6市町村での施設共同使用による削減計画及びそのための検討機関はあるのか。
答 該当する組織はない。有効な手段ではあるが、今後行政間の連携と利用者の合意形成が重要と考える。

●諏訪赤十字病院について

問 諏訪赤十字病院の市に対する貢献は。
答 入院、外来患者等の概ね半数が諏訪市民であり、市民病院としての役割を担っていただいていると認識している。

問 諏訪市からの補助金は。
答 平成11年の移転新築に関わる建設資金の一部の補助、および諏訪赤十字看護専門学校建設費用の補助や高度医療機器の導入等で、年平均

2億円程度支援している。

問 新型コロナウイルス対策の支援金は。
答 新型コロナウイルス感染症重点医療機関としてウイルスに立ち向かっていることに敬意と感謝を表す。コロナ感染患者搬送用等の救急車導入費用の3千万円を補助する。

●ウィズコロナ、アフターコロナ

問 学校、公民館の対応、今後の計画は。
答 学校では、換気、手洗いなどに留意し感染予防を徹底した。運動会等の開催スタイルの変更、修学旅行については、県内を先にするなど体験学習を充実した。公民館については、参加者と協議して、期間短縮や3密を避ける形で開催した。

問 夢科保養学園について、現状は。
答 入園予定134名の保護者に意向調査を実施。関係部署とも協議の上、期間を短縮し、四期とした。

問 夢科保養学園の信州大学との共同研究については。
答 長期宿泊体験を通じて、積極性、交友等の心理的社会的な能力、身体的能力が向上しているとの評価をいただいた。

代表質問

《あしたの諏訪》



小松 孝一郎



● 新型コロナ禍による子どもへの影響

問 国立成育医療研究センターの調査によると、コロナによりなんらかのストレス反応や症状が見られた子どもは、全体の70%以上となっている。諏訪市の子どもたちへの影響は、

答 児童生徒ともコロナ対策を受け入れ、新たな生活様式を実践。精神的不安定等の顕著な様子は見られない。

要望 8月の中高生の自殺は過去最高となった。表面を見るのではなく「こころ」の奥を注視してほしい。カウンセラー等の活用を要望する。

● 小学校の英語・プログラミング教育の状況

問 コロナ禍の中、新学習指導要領による小学校の英語・プログラミング教育がスタート。状況・課題は、

答 教科化に関して大きな支障は出ていない。教員に対しては県教委か

らの研修などを活用し対応力をつけていく。毎日の実践が教員の力をつける。

● 前倒しされたGIGAスクール構想の状況と課題

※児童生徒に一人一台の端末を配付し、多様な彩な子ども達の資質能力を育成できる教育ICT環境を実現すること。

問 今年度各学校のネットワーク環境を整備し、5年かけて児童・生徒に一人一台のタブレットを配付する計画が、コロナ禍により今年度配付することになった。進捗状況は、

答 各校のケーブルの設置は終了。タブレットは来年1月に納品予定。

問 導入後の活用計画は、

答 教育用ソフトは検討中。校内での活用充実を図り、当面持ち帰りは実施しない。発達障がいや不登校の児童生徒への対応、授業の質向上など学習の選択肢は広がるが、今後の検討。

問 教職員の対応力は、

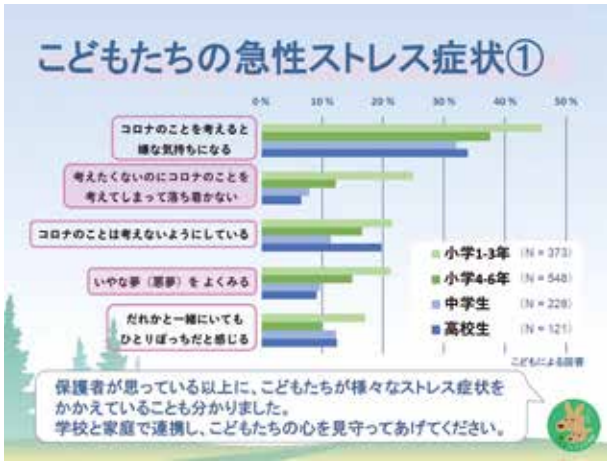
答 タブレット納品後、機器の操作研修を行う。活用事例を参考に経験を積むことで能力を高める。

● 教員の著しい負担増に対する対応

問 コロナ禍での子ども見守りや教育改革などで、特に小学校の教員の負担が急増し不安の声も聞く。対応は、

答 サポートスタッフの増員、ボランティアやPTAの協力で負荷軽減を図る。働き方改革を進める。

要望 英語・ICT関連など、国・県も民間活用の施策や補助金を用意している。市も地元企業を活用するなど、教員の負担軽減を図るとともに教育の質向上をさらに進めてほしい。真に子どもたちのために!!!



「コロナ禍の子どもたちのこころの変化」国立成育医療研究センターのHPで見られます

用語解説

不用額について

会計決算における不用額は、一般的には「要らないお金」と取られがちですが、予算に対して市の財源をどのように使ったかの根拠にもなります。

議会においても不用額について、予定していた事業予算がなぜ使われなかったのか、その理由等の説明を求めて審議しています。そのほとんどが入札に於いての当初予算との差額や実施件数が予想より少なかった等、節約などによるものとなっています。

また、不用額は剰余金となり地方財政法の規定により、半分は基金に積み立てられます。

市民のみなさんの税金からの財源が、大事にきちんと使われているかの指標にもなっています。

その1

代表質問

《日本共産党諏訪市議員団》



井上 登



●コロナ第3波、守れ！命・暮らし

問 感染防止に協力する市内事業者へPCR検査費用独自補助を。

答 感染拡大の状況となれば、PCR検査を含めた感染拡大抑制政策を速やかに講じる必要がある。

問 コロナ禍の影響を受け、女性自殺者が大幅に増加。対策は。

答 「諏訪市自殺対策計画」を策定し、民間団体と連携。今後ゲートキーパー研修会の実施を予定している。

問 文化芸術継続支援の状況は。

答 コロナ禍で舞台芸術等の活動自粛を余儀なくされた文化関係団体に対して、活動の継続に向け必要な経費を支援する。

問 国保税の減免について、収入見込み3割減で申請できるが、結果として3割以上減少しなかった場合もこの場合も財政支援の対象とする。

る。」との国会答弁に対し、諏訪市では市への支援だとして申請者には返還を求める意向だが、再検討を。

答 申請時に要件を満たしていると判断した後は、結果について調査見直しをすることは考えていない。

●国道20号バイパスの行方

問 今後のスケジュールは。

答 原案に対する公聴会を行い、ここでの意見を踏まえ、都市計画案の公告・縦覧とともに、市民の意見聴取も行われる。並行して、環境アセスメントの評価書の公告と縦覧、市民対象の説明会や意見聴取も行われ、それらを踏まえ、市長の意見書が県へ提出される。

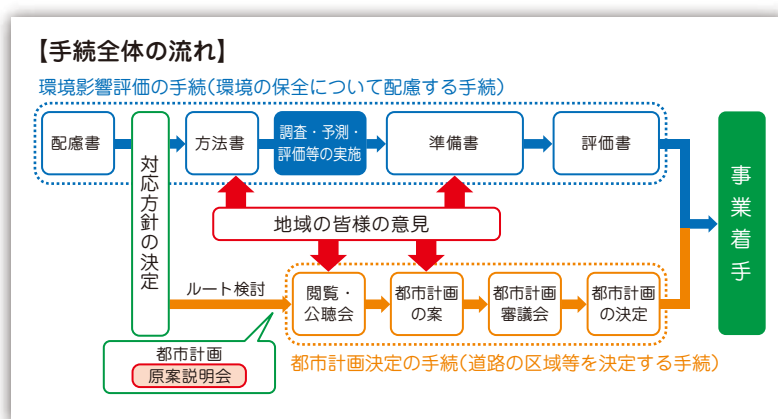
問 県の助言では、7項目の留意点を挙げ、特に酒造りの水源や温泉源泉への影響について「慎重に予測及び評価を行う事」を求めている。助言への反映は。

答 県及び国など関係機関において考慮されるものと思われる。

問 通勤バイパスとの関係は。

答 国道バイパス及び都市計画道路が整備されるまでの暫定的な措置。廃止については、代替道路が完成し

たところで、廃止の検討をしていただけのように要望する。



国道20号バイパスの環境影響評価の手続

●気候非常事態宣言に関して

問 グリーンボンドの目的は。

答 グリーンボンドとは地方公共団体や企業が環境問題への取組に対して、事業資金を調達するために発行する債券。諏訪市は県が進める環境施策等と協働することを目的として、庁舎整備基金の一部である1億円を投資する。

議員議案とは？

議案は、議会の議決を経るため議会に提出する案件のことを言います。これには、市長が提出するものと議員が提出するものがあり、議員が提出する議案を議員議案といいます。いずれの議案も、常任委員会(総務産業・社会文教委員会)または特別委員会(予算・決算審査特別委員会等)に付託され、審査をします。審査結果が出た後、本会議が開かれ、委員長が委員会の審査経過や結果の報告を行い、採決となります。可決されれば議案は成立します。

用語解説

その2



近藤 一美

●産業振興に日中友好協会の活用を

問 協会の目的、諏訪市との関係は。

答 35周年を迎え、民間主導で、日中友好の文化交流の推進と相互理解を
目指し、市長が会長、市総務課が事務局となり協会を支援している。

問 中国及び東アジアへ進出企業は。

答 諏訪市の企業で中国が12社と一番多く経済活動を行っている。他東南アジア諸国には24社が進出。

問 長野国際文化学園の活用を。

答 今後のグローバルな人材の確保策として求人要望がある場合は、卒業生とのマッチングも一つの提案として考えていきたい。

●デジタル化の先進地を目指せ

問 何のために行うのか。

答 働き方改革を推進し、職員の長時間勤務の解消、業務の効率化を目指す。

問 押印原則廃止の目的と書類とは。

答 窓口業務の効率化により、住民サービスの向上に寄与するため。今

後、押印及び署名が不要となる書類、補助金の申請書等署名は必要になる書類と2つになる。契約書や戸籍の届け出等、法律で押印が必要な書類は廃止できない。

問 音声による自動議事録に期待

答 現在会議録作成に2、800時間かかっている。作業時間と人件費が大幅に削減できる。年間160万円の削減を見込む。

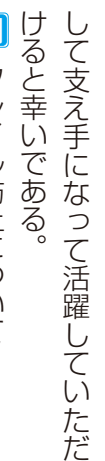
●健康都市諏訪を目指せ

問 認知症サポーター養成者数は。

答 認知症についての正しい知識の習得と、予防について役立つ講座であり、既に3,335名が受講している。受講者は今後、自身の社会参加として支え手になって活躍していただけると幸いである。

問 フレイル防止について

答 コロナ禍における自粛生活で、心身機能の低下が懸念される。8月末より、介護予防教室、体操教室を再開した、活用していただきたい。



サルコペニア（筋肉減弱症）防止のため、筋肉強化運動を！「お尻上げ」は腹筋強化に役立つ。



藤森 靖明

●第6次諏訪市総合計画の策定について

問 福祉・医療へのまちづくりの将来像について市長のご所見は。

答 社会福祉法が改正された経緯なども踏まえ、公的支援体制のあり方、地域やコミュニティの支えあい機能の再構築にも目を向けながら、普段の暮らしの中に安心と幸せがあるまちづくりを推進する。

問 地域医療について今後の課題は。

答 医師の高齢化等により在宅医療を担う診療所が減少していることから、これを担う医師の負担がさらに増しており、担い手となる医師を確保するための方策が必要となっている点や、退院時の病院側の情報提供の向上など、「病診連携」の更なる強化や訪問看護の充実が必要。

問 ライフドアすわについて連携と取組は。

答 市民の皆さんの相談や個々への関わりは包括支援センターや在宅介護支援センター、サービス提供事業

所等が担当するが、ライフドアすわは、事業所等支援者の連携を良くし、市民の皆さんが困らないようにするための受皿となっている。

問 学業、就職における市外転出・転入状況は。

答 15歳以上24歳以下の年代は県外への転出傾向にある反面、県内からは転入傾向にあり、進学・就職で県外に転出する傾向がある一方で、就職については県内他市町村から市内企業への就職者が多かつたと推測する。

問 U-Jターン起業家へのサポート体制構築は。

答 開業支援資金による支援を行うとともに、新設の工場・店舗等の固定資産税相当額の支援、工場等の家賃支援、空き店舗等の改装の補助等を実施し、

コワーキングスペースや商工会議所、金融機関、公的支援機関等とも情報共有している。



これからの諏訪に期待（写真：諏訪湖上空より）



牛山 正

●脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）実現に向けて

問 ゼロカーボンシティ実現に向けた構想、方向性は。

答 県の「気候非常事態宣言」などに賛同を表明し、県のグリーンボンド等の環境施策に積極的に参画している。令和3年度は、環境基本計画、地球温暖化対策実行計画などに、学びや意識啓発、省エネ・低炭素製品の導入拡大、省エネ住宅・ビルの普及、再生エネルギーの導入を盛り込み、SDGs、パリ協定、エシカル消費等、脱炭素社会実現に向けて企業や家庭、市民の皆さんと目標を共有し、官民一丸となってゼロカーボンシティに取り組む。

●地域防災の取組について

問 急傾斜地の管理状況は。

答 土砂災害防止法により崩壊の危険性がある場所が、市内には急傾斜地164か所、地滑り20か所ある。特に危険性が高いと判断した箇所について



急傾斜地、崩落防止対策（中洲・神宮寺）

は、毎年4月に建設課、農林課、消防、警察、諏訪建設事務所関係者で「防災パトロール」を実施し、状況確認と意識合わせを行っている。今年度は延べ36名で39か所を確認し、前年と比較して危険性が高まった箇所はなかった。結果については諏訪市防災会議に報告し対処している。

問 小中学生の防災・減災教育は。

答 「自分の命は自分で守る」という考えの徹底、想定にとらわれず、ルールを守りながら自分の意志で行動できる子どもの育成を図ることを大事に考え、教室での学習以上に体験を大事にした授業を行っている。映像を使っての諏訪の災害学習、砂防堰堤の見学、また、「こども会議」を開催して、尊い命を守るために、自分たちができることは何か、避難所でできる事は、災害時にどうすれば良いかなど、命の大切さを考える学習、地区自主防災会と協力しての体験学習などを実施している。



吉澤 美樹郎

●健康を軸とした施策への取組は

問 観光面において、健康をブランドの一つとして、様々なアクティビティで汗を流し、温泉で体を癒す、更に諏訪の健康食文化を味わい五感を刺激するような商品を開発し発信していくことが必要ではないか。またこうした魅力を発信するための仕組み、組織が必要だと思いが。

答 諏訪市には自然環境を活かした多様なアウトドアレジャーに加え、酒・味噌などの発酵食品や寒天、そばなどの郷土の食品も数多くあり、これらは有効な誘客素材である。旅先で健康増進や療養を行う旅のスタイルである「ヘルスツーリズム」は、新たな観光需要の掘り起こしに繋がるものと思われ、観光誘客をプロデュースする組織である観光協会と連携し、様々な魅力ある商品の開発と、観光振興を進めていく。

問 今後の健康福祉施策は大変重要だと考えるが、展望と健康増進に向けた市民への啓発などについて伺

う。
答 次期諏訪市健康づくり計画の参考とするため市民健康意識アンケートを実施した。回答者の75%が日頃から体を動かす事を心がけているとの回答があり、定期的な運動をする、階段を使うよう心がけるなど意識の高さがうかがえた。今後の取組については「健康づくりプロジェクト」など、現在の事業のブラッシュアップに加え、アンケート結果を分析し、保健衛生関係団体などの皆様に意見をいただきながら次期健康づくり計画策定の中で検討していく。

市民への啓発については、令和元年度より特定健診や歯科検診を受診した方等に、ポイントを差し上げる健康づくりポイント事業を行っている。健康増進メニュー参加へのインセンティブにつなげることがこの事業の目的であるが、こうした事業も活用しながらさらに啓発に努めたい。



健康づくり教室の様子

一般質問



牛山 智明

●子供のゲーム依存症とブルーライトによる目・身体等安全性対策

問 依存症の状況は。

答 特段の調査を行っておらず状況を掴んでいない。

問 コロナ禍における電子メディア機器使用時間は。

答 「子どもとメディア信州」と長野県教育委員会の行ったアンケートでは小学生4割、中学生5割が増えたと回答しており、使用時間について小学生は平日1時間、休日1〜2時間、中学生は平日1〜2時間、休日2〜3時間という回答が多かった。

問 条例化、ルール化の必要性は。

答 PTAもルールの必要性を強く認識しており、使用時間、利用場所等約束を作る話し合いを促す通知を保護者宛に発行している。現在のところ条例化等の規制は考えていない。

問 子どもの目を守る対策は。

答 1時間に1回は遠くの景色を見

る・正しい姿勢で画面に近づきすぎない等、使用の約束を指導していく。



これって依存症？

●大水害時の安全な避難所確保

問 中外製薬医学研究所跡地の避難場所としての活用は。

答 土石流、土砂災害警戒区域に該当、避難場所としての活用は難しい。

●大型除雪機の横断的な活用

問 ホイルローダーをバケットに替え、砂利ひきを使用できないか。

答 バケットを選択して装着している地区があるので、地区間でシェアし、有効活用していただきたい。

●住宅排水路と農業用排水路の改修

問 「諏訪市土地改良事業分担金賦課徴収条例」の見直しは。

答 予定はない。浸水被害が多発する箇所は部局を横断した対応をしていく。



廻本 多都子

●介護保険制度の見直し計画とコロナ感染症の影響

問 感染拡大が広がっているが、事業所の現状と今後の計画はどうか。

答 諏訪広域連合で策定を進めている第8期介護保険事業計画に、新たに災害発生状況やコロナ感染拡大の流行を踏まえた備えの重要性を記載し、具体策は年度末までに委員会にて決定する。利用やその他に変化はないが、人材不足との意見があり、厚労省で配置基準の見直しを検討されている。

問 高齢者の重症化が問題となり、厚労省からは高齢者施設の入所者、従事者の一斉定期的なPCR検査を推奨され、他の自治体では始まっているが当市ではどうか。

答 現在、行政検査と任意検査の二つがあるが、一定の高齢者等への検査費用への助成は感染状況など踏まえ保健所等と協議し判断する。

●コロナ感染拡大で子ども達の居場所はどうか

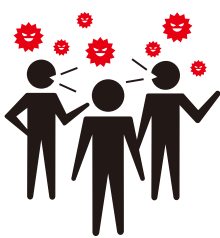
問 こども食堂や放課後児童クラブなど子ども居場所の変化は。

答 こども食堂は、地域住民や各種団体からの支援が増えた。児童クラブについては、定期消毒、手洗いうがいの徹底と健康観察などしているが、児童はマスク着用、ソーシャルディスタンスを保つなど協力的。指導員の負担も大きく、今後も適正数の確保と育成に努める。

●持続化給付金の農家の申請は

問 持続化給付金の対象であるが、全国的には、「知らなかった」などの声もあるため申請についての周知や状況はどうか。

答 農繁期が過ぎてからの判断となるため、申請が遅れていることが想定される。申請期限の令和3年1月15日に間に合うよう組合を通じて、収入状況によって給付金の対象になり得る旨の周知を開始している。



3密を避けよう



高木 智子

●学校でのいじめ、暴力行為・不登校について

問 いじめ防止や相談のしやすさのためにも市内全中学校で学年担任制を取り入れてはどうか。

答 いじめの発見にはかなり効果があると考えている。ほかの3校でも各校の現状などを考慮したうえで判断していく。

問 文科省によると「学校いじめ基本方針の公表等に努める」とあるが。

答 諏訪市はホームページに公表していないが、理解を得るよう努めている。

問 富士見中学校は公表している。

問 諏訪市もホームページに載せたほうがいいのでは。

答 提案の件に関しては検討する。不登校支援への市長の所見は。



「いじめ…かなしいね。」

答 不登校は一つの個性。一人ひとりの個性や考え方や生き方に繋がる夢や希望を大切に

に支援していく。

要望

今後も人・お金の両面をしっかりとつけていく積極的温かな決断をお願いしたい。

問 小学校には中間教室がないかどのように過ごしているのか、なぜないのか。

答 保健室や校長室等で過ごしている。中間教室がないのはスペースの問題や担任制であるためなど。

問 小学校保護者から要望はないか。
答 特別声は出ていない。考え方としては必要になってくるのかもしれない。今後の検討課題。

●ゆめスクールプランについて

問 教育課程の特例を生かし英語やプログラミングなど新しい教育に力を入れる考えは。

答 当面はふるさと学習、ものづくり教育に取り組む。

問 特別教育のものづくり教育についてアンケートで意向調査はしているか。

答 安易にアンケート調査する対象ではない。

問 小中一貫校で習熟度別授業は。
答 主に英語・数学で教科ごとに状況や必要性を考慮した上で判断する。



小山 博子

●死亡・相続の手続きのサポートについて

問 死亡・相続時に必要な手続きのハンドブック化の検討は。

答 死亡届提出時に、「死亡届出に伴う手続き及び各種証明について」という、必要な手続きを一覧にした書面をお渡ししている。ハンドブックといった形態が良いのかを含め、より分かりやすく改善したい。ホームページからダウンロードができるように準備しており、市民課だけでなく、関係課所でも書面をお渡しできるように、連携をとって対応していきたい。

●「プッシュ型」の情報発信の導入について

問 行政から市民へ情報を伝える手段として、「プッシュ型」の発信方法の検討はいかがか。

答 現在、必要としている人に必要な情報を届ける点では、非常に難しく課題があると考えている。行政と

市民をつなぐ手段として「プッシュ型」の情報発信は有効だが、運用後の課題や経費を総合的に判断し、導入するか否かの検討が必要と考えている。

●認知症の見守りシールについて

問 対象者が行方不明になった際、発見者がスマートフォン等でシールの二次元コードを読み取ると、伝言板サイトが表示される。必要な情報を入力すると、緊急連絡先にメールが自動転送される。この制度の導入はいかがか。

答 所在不明の高齢者の早期発見に大変有効なもので、必要性を認識している。課題を精査し研究の上、導入に向け早急に検討してまいりたい。
要望 広域で導入すると、より一層効果が高まる。検討をお願いしたい。



見守りシール啓発ポスター
(提供：中野市)

一般質問



液状化で浮上したマンホール
(写真提供：長岡市)

によるマンホールポンプの機能停止、地震時は液状化によるマンホールの浮上が想定される。公共汚水樹の浮上例はほとんどない。災害によ

●下水道・浄化槽について
問 浄化槽の災害時に想定されること及び損傷した浄化槽の再設置の補助は。
答 水害時は槽内に水が入り込んでしまい、電気系統が浸水し送風機が故障、地震時は槽の破損、送風機の破損、配管の外れが想定される。槽はFRP製で頑丈、個別処理のためすぐに復旧できることから災害には比較的強い。下水道供用区域外は災害に伴う再設置の補助あり。
問 下水道の災害時に想定されること及び破損した宅内排水管の復旧補助については。
答 水害時は冠水や落雷に伴う停電



岩波 万佐巳



る破損は公的支援を受けることができる場合がある。

●かりんちゃんねるの議会中継
問 予約録画はできないのか。
答 現在のシステムでは予約録画はできない。来年度インフラ整備の更改に併せて番組表を導入する予定。

●避難所について
問 一次避難所となっている長野県の施設(高校・福祉大学校等)はどのような場合に開設するのか。
答 あくまで一次避難所なので、開設・運営は施設管理者が行う。日中は生徒・学生がおり夜間は施設管理者がおらず迅速に対応することは難しい。基本は市の広域避難所に避難する。

●電線の地中化について
問 災害時に電線の地中化は有効か。
答 諏訪市は軟弱地盤である上、水位が高いことから、地中化はコストや維持管理の問題が多く進んでいない。地震時には、電柱の倒壊を予防できることから交通確保に有効。浸水被害にあった場合は地中配線が冠水する恐れがある。今後、有効な手法の研究を進めていきたい。

●要望 県施設のシミュレーションを行っていただきたい。



森山 博美



●守ろう！大切な命！
問 自殺・不登校・DVについて、「SOSの出し方教育」の状況は。
答 今年度は全中学1年生を対象に計画し、3校で既に実施し、1校はこれから行う。実施済みの学校からは、「相談する事に抵抗がなくなった」という生徒の声や、「保健室への相談が増えた」という養護教諭からの報告があった。保健室の相談から担任やスクールカウンセラーにつないでいく事ができる。「SOSの出し方教育」は、自らがかけがえのない存在と認識し、ストレスに適切に対処する方法を身につけ、困難や問題に対応するための援助希求行動について学ぶ機会として大きな意義があると考

える。
問 ゲートキーパー研修会の状況は。
答 減少傾向にあった自殺件数が今年後半から増加に転じ、女性の割合や低年齢化が進んでいると指摘いただいた。未成年の場合、居場所が家

庭・学校に限られることが多く、悩み
 の原因がそれらの居場所にあった
 場合、どこに・誰に相談すればいい
 のか判断できない場合があると考
 えられる。自殺を防ぐには、悩みを抱
 えていることに誰かが気づき、声を
 かけ、話を聴く事が重要。子どもが
 悩みを抱えていることに気づいたら、
 チャイルドライン、保健センター、
 ステなど、相談窓口がある事を知
 せてほしい。大切な命が守られる
 よう気づき、つなげる役割を多くの
 方が担っていけることを目指して
 して取り組んでいく。



みんなが誰かの
ゲートキーパー

気づき 傾聴

専門家につなぐ

まずは気づき、声かけを！



横山 真

●行政と民間の連携の見直し

問 コロナ禍の影響は中長期に及ぶ。今こそ市役所から元気を発信する時だ。行政は待ちの姿勢ではなく、民間との連携に積極的に行動するタイミングだと思うが。

答 意欲ある民間の力を活用し、持続可能なまちづくりを民間と進めていく。

●技術職を増員配置する考え

問 市内では複数の大型ハード事業が進んでいる。市の技術職を増員する考えはないか。

答 所属別だと財政課に2人、農林課に1人、建設課に5人、都市計画課に4人、水道局に13人いる。技術職の需要は高まっているが専門職の採用試験の受験倍率は低い。退職者への対応や技術継承のためにも、優秀な人材を積極的に採用していきたい。

●組織機構改革

問 職員に求められる最大限の努力・自己研さんに励む資質の向上のための新たな取組は。

答 来年度より、リーダーの補佐役としてのフォロワーシップを形成し、相互に力を発揮できる組織づくりを学ぶチームビルディング研修を取り入れ、効果を検証しながら職員の育成に努める。役所の中のエネルギーが上がっていくことを大いに期待したい。



職員研修の風景

問 来年度に更新する市ホームページの工夫は。

答 必要な情報へ誘導するため、回遊性を重視した設計を採用する。古い記事が載ったままになる状況を防ぐため、サイト品質の劣化を防ぐ機能等を充実させる。

問 すわっチャオが導入するWeb配信システムを活用した情報発信の仕方は。

答 すわっチャオのコンセプト「あつまる・つながる・はじまる」を、コロナ禍において具現化する手段として、来年度においてもWeb配信システムを使った取組を検討する。

社会文教委員会が「政策提言書」を金子市長に提出しました！

社会文教委員会は、令和2年4月から委員会でも検討を重ね、「再生可能エネルギーに関する条例制定の実現」に向けた政策提言書を同年12月22日に金子市長に提出しました。

「再生可能エネルギー」利用は、持続可能な地域づくりに欠かせないものであり、市民生活の向上、安全の確保、地域経済の活性化と自然環境・景観の保全とのバランスの取れた「共生」できる、諏訪市独自の取組が必要であると考え、要点を10項目にまとめました。

なお、諏訪市議会基本条例制定後、初の政策提言となります。政策提言書は市のホームページに公開しております。



※右記 QR コードを読み込むと、リンクできます。





議会だより モニター通信



第2回議会だよりモニター連絡会議が開かれました！



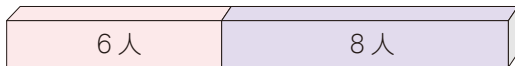
11月12日(木)に第2回議会だよりモニター連絡会議を開き、モニターの皆様と直接意見交換をさせていただきました。これからもより良い紙面づくりのため、ご協力をお願いします。



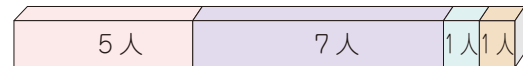
■議会だより第82号のアンケート結果は以下のとおりです。

良い まあ良い 普通 あまり良くない 良くない

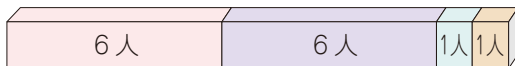
1. 本誌の内容はわかりやすいと思いますか。



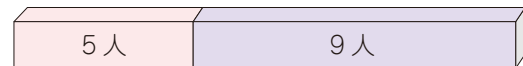
2. 表紙や見出しについてのイメージはいかがですか。



3. 紙面構成、レイアウトはいかがですか。



4. 写真や図の使い方はいかがですか。



ご意見・ご提案への回答

モ モニター **議** 議会だより編集委員

モ P5議案第43号の質問の中で2段目のノート型PCに関する質問ですが、下段の詳細表に紐づけされる内容記載が見当たらず、質問に唐突感が否めない。質問の前提となる説明や質疑があったのでしょうか？

議 内容がわかりやすくなるよう、議案と紐づけできるように努めます。

モ 表紙と見出しのカラーの統一感を出すのは良いと思います。ただ、今回の表紙カラーはちょっと薄く、くすんだ色調のように感じました。

議 表紙に関しては、四季をイメージしたカラーにしております。(5/1号：青、8/1号：緑、11/1号：オレンジ、2/1号：ピンク) この四色をベースに、親しみやすい色合いになるよう努めていきます。

感想

- ・今回は、いつもより内容が盛りだくさんだったように思います。数字関係やコロナ対策、ゴミ関係、観光など、ページごとに適切にまとめられていて、大変読みやすかったです。
- ・紙面上部には、各委員会や代表質問・一般質問についての説明がインデックス状に記載があり、わかりやすかった。
- ・常任委員会が所管する部局について説明があり、仕組みや役割の理解の助けになった。
- ・今回「審議結果」を前に配置していることで、審議の概要を把握してから内容を読み進めるという流れができて読みやすく感じました。決算審査の後に配置していることで、表紙からの興味の流れも途切れることなく、工夫してくださっていることが感じられました。

たくさんの
ご意見・ご感想
ありがとうございました。

議 長 室 から こ ん に ち は !

議員議案の「諏訪市議会議員の政治倫理に関する条例」を12月定例会で全会一致可決し、12月11日に公布されました。以前、平成30年12月制定の「諏訪市議会基本条例」を検討している段階で、市民の方より倫理条例の必要性についてご意見をいただき、その後の改選を経て、議会内で検討してまいりました。内容はごく当たり前のことではありますが、明確な政治倫理基準を定め、改めて強い意志と自覚を持ち政治活動に臨むため、制定しました。今後も市民の皆さんからご意見をいただきながら、議会改革を進め、その時代に即した市民に開かれた議会を目指したいと思っております。



精進湯跡
お手湯除幕式の様子

議長 伊藤 浩平

議会に参加しましょう

3月定例会は、**2月19日(金)** 招集予定です。

詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定する予定です。



議会を傍聴しましょう!

本会議は当日の受付で傍聴できます。
ご希望の方は、諏訪市役所議会棟2階の議会事務局窓口までお越しください。その際アンケートをお配りしていますので、ご協力をお願いします。
託児サービスは傍聴希望日の5日前までにお申し込みください。
皆さんの傍聴をお待ちしています。



請願・陳情を出しましょう!

議会に対して陳情書等を提出することができます。
ご意見やご要望がある方は、議会に文書でご提出ください。
締切りは2月10日(水)正午までです。
提出方法など、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



議会をテレビ・パソコンでみましょう!

本会議の様子は、LCVの「かりんちゃんねる」で生中継しているほか、過去の映像をYouTubeにアップしています。下のQRコードを読み込むと、動画一覧ページに移動しますので、ぜひご覧ください。また、本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。

3月定例会のテレビ中継日程予定	
月 日	会 議
2月19日(金)	提案説明、議案質疑、付託
2月26日(金)	代表・一般質問
3月 1日(月)	一般質問
3月 2日(火)	一般質問
3月16日(火)	委員長報告、採決

※中継日程は、変更になる場合があります。
※質問内容は2月18日(木)頃ホームページに掲載予定です。

諏訪市議会

検索



委員 委員 委員 委員 副委員 委員
員 員 員 員 長 長
牛 小 近 岩 廻 森
山 山 藤 波 本 山
博 一 万 多 博
正 子 美 巳 都 子 美

議会だより編集委員

森山 博美

明けましておめでとうござ
います。
いつもと違う新年をお迎え
のことと思います。
何気ない日常のありがたさ
を感じ、「感謝の気持ち」を持っ
て過ごして参ろうと思ってお
ります。
寒く、乾燥の季節ですので、
感染症に新しい生活習慣で対
抗していきましょう。
議会だよりモニターの皆さ
んのご協力により、毎号改良を
重ねて参りました。2月開催予
定の連絡会議も楽しみます。
12月議会では、14名の議員が
質問しましたが、限られた紙面
で、全ての記載は難しく、
YouTubeの配信も行っており
ますので、ぜひご覧ください。
これからもご愛読いただけ
ますようお願いいたします。

編集委員よりひびくと

諏訪市防災無線フリーダイヤル、メールサービスをぜひご活用ください!

- 防災行政無線フリーダイヤル 0120-68-8404(無料)
- 防災メールアドレス 登録方法：右記 QR コードを読み込むか、
bousai.suwa-city@raiden.ktaiwork.jp に空メールを送り、
返信メールに従って登録してください

